## 三井物産株式会社 個人投資家向け説明会



2022年3月 三井物産株式会社 IR部 証券コード:8031

### 創業以来受け継ぐ価値創造の歴史

◆ 時代に沿って、事業を通じてグローバルな社会課題の解決へ貢献し、 当社の持続的成長も追求

### 「必要なモノやコトを必要としている人々に届ける」と

いう使命を果たすことで、戦後の日本そして世界の経済発展に寄与

生業のトレーディングと事業経営の両輪で成長するビジネスモデルに発展。 社会・産業構造の変化を機会と捉え、 事業領域と収益基盤を拡大 | **強み**| を活かした 更なる価値の創出



### 事業分野(7セグメント)



LNG、天然ガス、石油クリーンエネルギー事業

- 7,7 J.T. 17,7

LNGプロジェクト・米国

- 鉄鉱石、原料炭、銅、電池原料
- リサイクル事業



©Cameron LNG

### 事業分野(7セグメント)





### 事業分野(7セグメント)



●ICT、金融、不動産、物流



### 米国液化天然ガス事業(キャメロンプロジェクト)

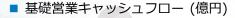
米国ルイジアナ州で天然ガス液化設備を建設・運営 天然ガスの調達と、製造されたLNGを輸送・販売 発揮された総合力 LNG開発事業 インフラ事業 .uli トレーディング ロジスティクス ©Cameron LNG



### 金属資源事業 / キャッシュ創出と収益性



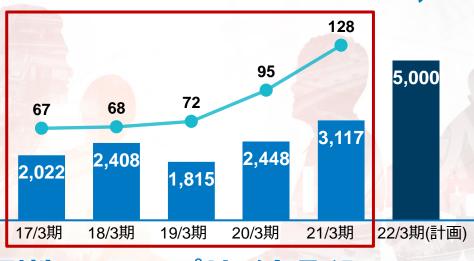
約12,000億円 累積基礎営業キャッシュフロー



鉄鉱石価格 (US\$/ton)







## 下方耐性 + アップサイド取込み

を兼ね備える事業基盤



### 機械・インフラ事業、化学品事業





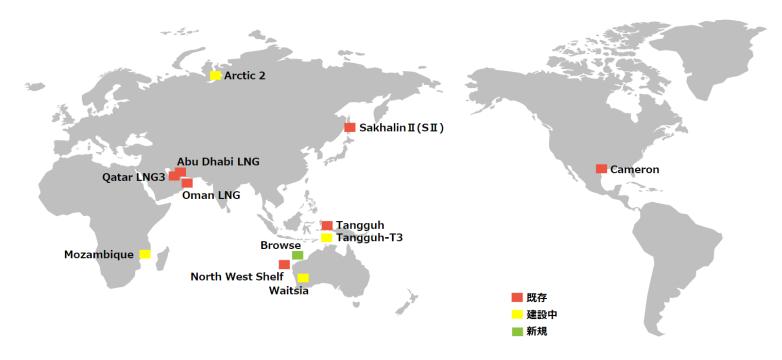
### Strategic Focus① エネルギーソリューション

◆ 主力事業たるLNG・E&P・電力を核に、次世代型エネルギー事業を創出



### LNG資産ポートフォリオ

- ◆ 地域多様性のあるLNGポートフォリオを形成し、日本を始めとするグローバルなLNG安定供給に寄与
- ◆ 既存事業の競争力強化、資産リサイクル等を通じ当社ポートフォリオを更に良質化



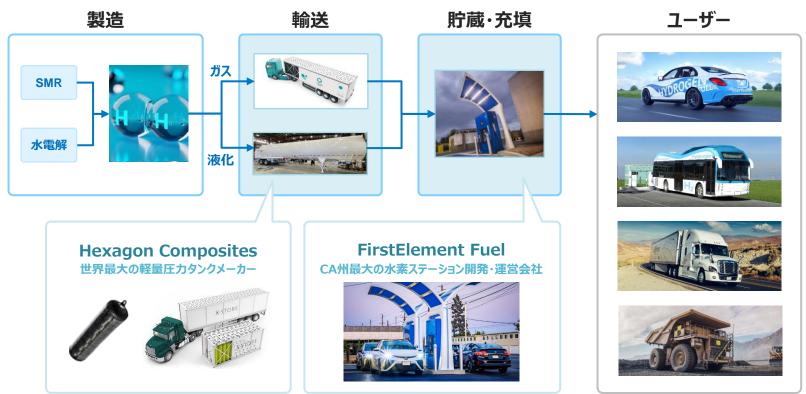


販売

### 

### 水素バリューチェーン事業

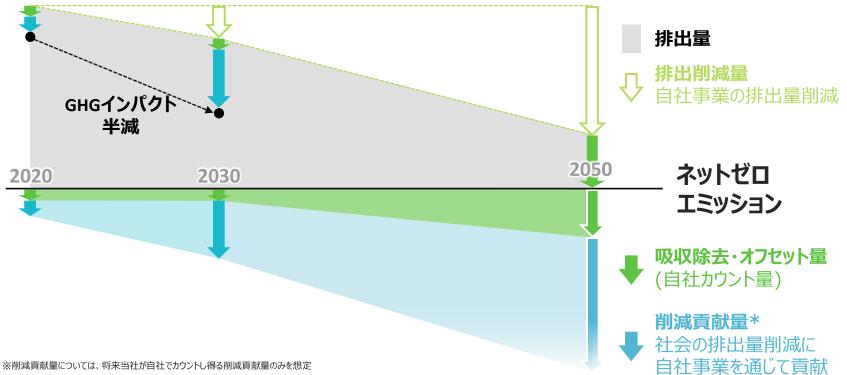
### -米国CA州における具体的取組み-





### 気候変動への対応

- ◆ 2050年の「あり姿」としてネットゼロエミッション(カーボンニュートラル)
- ◆ 2030年は2020年比GHGインパクト半減を目指す





### Strategic Focus② ヘルスケア・ニュートリション

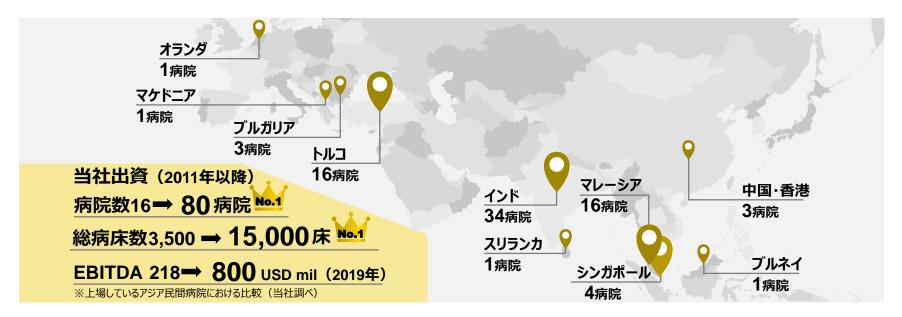
- ◆ ヘルスケアからウェルネス、患者から生活者への対象領域を広げた取り組みによる成長基盤 構築の加速化
  - ●コア事業たるIHHの成長を梃子に、データ事業を確立
  - ●治療から未病、予防まで幅広い事業を創出
  - ●アジア最大級の「健康事業群」を目指す





#### ヘルスケア・ニュートリション事業 基幹アセット: IHH

- ◆ PCR検査受託等のコロナ対応への貢献やコスト削減策の徹底により、業績は堅調
- ◆ 病院ポートフォリオの強化とグループ病院間シナジーの追求
- ◆ IHHの3,000万人超のデータを起点とした経営効率化と新事業の創出





### 2022年3月期 第3四半期 経営サマリー

- 基礎営業キャッシュ・フロー、当期利益共に第3四半期累計実績として過去最高を更新
- 商品市況のアップサイド取込みと事業ポートフォリオ良質化による収益基盤の強化を実現
- 通期業績予想を上方修正、及び期末配当金を従来予想比10円増配の60円/株へ引き上げ
- オミクロン株の感染拡大、米国の金融引き締めの世界経済への影響を注視

(単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期実績	2022年3月期 第3四半期実績	増減	2022年3月期 従来予想 21年11月公表	進捗率
基礎営業キャッシュ・フロー*1	4,934	8,629	+3,695	9,200	94%
当期/四半期利益* <sup>2</sup>	1,989	6,333	+4,344	7,200	88%

<sup>\*1.</sup> 営業活動に係るキャッシュ・フロー (22/3期第3四半期: 3,590億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (同: ▲5,447億円) - リース負債の返済による支出額 (同: 408億円)

#### 通期業績予想を以下の通り修正

- 基礎営業キャッシュ・フロー 10,900億円(従来予想比+1,700億円)
- 当期利益 8,400億円(従来予想比+1,200億円)

22/3期の期末配当金は60円/株、年間配当金は105円/株(従来予想比+10円)

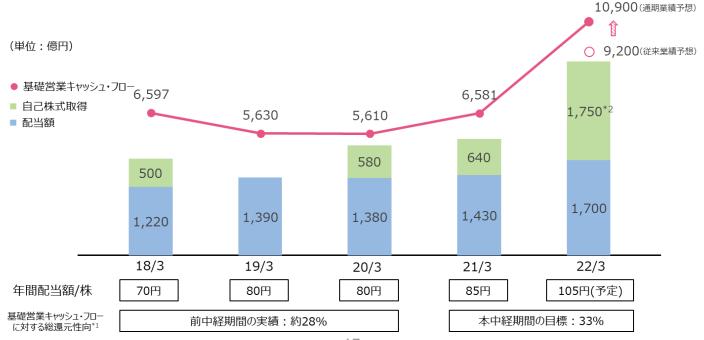
中期経営計画最終年度となる23/3期の年間配当金は120円/株の見通し



<sup>\*2.</sup> 本資料では当連結会計年度の「当期利益(親会社の所有者に帰属)」を「当期利益」と表記

### 株主還元方針

- 2021年12月に最大500億円の自己株式取得を決定
- 安定収益基盤の拡大を踏まえ、年間配当金を105円/株に増配
- 基礎営業キャッシュ・フローに対する21/3~22/3期累計の総還元性向は32%を見込む
- 今後も安定的なキャッシュ創出力拡大に応じた配当の引き上げと、機動的な自己株式取得を検討





# 360° business innovation.

